

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム作楽
日付	平成17年9月12日
評価機関名	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	病院での相談援助業務歴31年、家族介護歴13年 病院での看護業務歴33年(内老人病棟で18年)、家族介護歴7年
自主評価結果を見る(事業所の自主評価結果にリンクします)	
評価項目の内容を見る(岡山県の定めた評価項目へリンクします)	
事業所のコメントを見る(評価結果に対する事業所の改善状況についてコメントがあります！)	

外部評価の結果

講評
全体を通して(特に良いと思われる点など) ・落ちついた住宅街の中にあり、2ユニット共に、バリアフリーで広々とした生活空間が確保されており、明るく開放的です。居室はすべて日当たりが良く、外の景色を楽しむことができます。 ・職員に有資格者が多く、2名の看護師が常勤体制をとっています。職員間の学習会や研修参加にも積極的で、入居者の健康管理が良くなされています。 ・入居者の立場にたつて社会資源を積極的に活用し、成年後見制度の利用もされています。 ・入居者にとって昔懐かしい品々をリビングに置き、全員が平等に回想できるような取り組みをしています。 ・家族の希望にそってターミナルケアへの取り組みがされています。質の高いケアを提供しているグループホームとして地域からの信頼を得ています。 ・昨年、家族の意見をより多くホーム運営に反映させるために、家族会を発足させました。 ・入居者と職員は和気藹々として、笑い声や笑顔が多く見られます。
特に改善の余地があると思われる点 日常的に課題を見つけ、職員全体で改善していくことに積極的な姿勢がみられますが、気付いた点を述べさせていただきます。 ・居室であるということが、よりわかりやすいように各居室の表示が入居者それぞれに応じた目線の位置にあれば、尚一層良いのではないのでしょうか。また、入居者にとって愛着のあるものを活用するなど、親しみのもてる表示方法を検討されてはいかがでしょうか。

運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か。 ・事業者は高齢者が淋しい思いで生活をする事が無いようにと、地域密着型のグループホームをめざし、ホーム設立当初から地域交流を大切にしています。 ・入居者への見守りと声かけを大切にケアをめざしています。 ・認知症の進行を防ぎ、身体機能が低下しないように予防介護に力を注ぎ、入居者に合った持てる力の維持継続をめざしています。 ・職員の資質向上が大切と考え、研修に重点を置いています。		

ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシーの保護のために取り組んでいるものは何か。 ・それぞれの生活歴の中から持てる力や特技を聞き、他の入居者とともに、楽しみながら披露できる場面を多く作ることを大切にしています。 ・個人情報保護法施行後、管理者は研修を生かして事業所で話し合いを持ち、職員のための個人情報保護に関する「マニュアル」を作成しています。マニュアルを基に入居者の情報を安易に外部へ知らせないことを職員間で徹底しています。 ・個人情報保護に取り組んでいることを家族にも情報提供できるよう、玄関に「マニュアル」を掲示しています。		

生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり		
3	入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり		
4	建物の外周や空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か。 ・入居者の自由を尊重した寄り添うケアを中心とする関わりの中から、入居者の好きな事や喜びを見つけ出し、日常生活に組み込んでいく取り組みをしています。		

ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 ・花などの異食行為のある入居者もいるため、常に見守りのケアを職員間で徹底しています。「ヒヤリハット」を活用してサービスの向上に努めています。 ・家族からの苦情はありませんが、家族からの要望や問題があった時は、家族にとってわかりやすいように管理者が対応し、統一性を保っています。 ・家族が納得するまで、誠心誠意をもって対応しています。		